

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書（単位：千円）

基本目標	1	元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ					
重点戦略課題	4	さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興					
施策の基本方針	大学などの研究機関が持つ知の資産と産業とを結び、IT、ライフサイエンス、福祉、環境などの分野で新たな産業をつくっていきます。また、デザイン産業を振興するなど、札幌の都市イメージを活用し、独自の魅力を持つさっぽろブランドを確立・発信していきます。						
計 画 事 業 の 実 施 状 況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				進捗率
			16年度(決算)	17年度(決算)	18年度(決算)	合計	
1	IT関連人材育成拠点の整備		8,000	11,000	54,605	73,605	
1	商業決済基盤を活用したコミュニティビジネスモデル支援事業(終了)	24,000	19,000	4,000	0	23,000	95.8
1	首都圏市場開拓イニシアティブ事業[再掲]	30,000	9,303	9,229	9,776	28,308	94.4
1	IT・バイオネットワーク構築事業	19,000	8,485	4,398	5,050	17,933	94.4
1	デジタルコンテンツビジネスの振興による芸術文化産業の創造		0	26,988	46,228	73,216	
1	大学成果活用推進事業	45,000	11,818	13,600	8,713	34,131	75.8
1	健康サービス産業振興事業	15,000	4,183	3,956	1,709	9,848	65.7
1	環境関連産業振興事業	15,000	3,681	4,965	535	9,181	61.2
1	札幌元気基金事業(ベンチャー支援事業)[再掲]	355,000	60,652	112,650	108,823	282,125	79.5
2	札幌ブランド構築・推進事業	75,000	28,856	20,765	27,842	77,463	103.3
2	食産業振興プロジェクト事業	36,000	7,404	16,355	15,096	38,855	107.9
2	「顔の見える農業」推進事業	12,000	3,995	2,807	2,794	9,596	80
2	スローライフ運動の展開	2,000	0	256	528	784	39.2
追加・補強事業の実施状況(参考)							
		-					-
		-					-
		-					-
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス 等 の 整 備 水 準							
施策番号	項 目	15年度末(現状)	16年度末(実績)	17年度末(実績)	18年度末(実績)	18年度末(目標)	
主 な 取 組 内 容							
16年度(実績)		17年度(実績)		18年度(実績)			
施策1	大学の知恵とITを活用した新産業の創出と既存産業の高度化						
IT サッポロバレー・ステップアップ・ビジョン策定、IT産業国際スペースの設置。	IT IT産業国際スペースでの札幌市と大田市のIT企業による共同製品開発の試行、アジアとのビジネスマッチングコーディネーターの配置、札幌CITY CARDを活用した顧客誘導効果の実証実験実施。	IT 高度情報通信人材育成・活用事業(人材育成・活用センター(セミナー等参加者145名)及び企業情報提供センターの構築、IT関連産業国際化事業(マッチング成立件数10件))の実施					
デジタルコンテンツ デジタルコンテンツ配信システムの構築。運用。	デジタルコンテンツ コンテンツビジネス支援事業(クリエイター人材海外交流、国際短編映画国際イベントの実施)、創造都市さっぽろ創出・推進事業。	デジタルコンテンツ デジタルコンテンツ産業化事業(クリエイター人材海外交流(招へい4人(3ヶ国)、派遣2人(2ヶ国))、札幌国際短編映画祭の開催(来場者数8,160人)、創造都市さっぽろ推進事業(国際イベント来場者数163人)					

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	1	元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
重点戦略課題	4	さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興	
主 な 取 組 内 容			
16年度（実績）		17年度（実績）	
<p>新産業 IT・バイオビジネスマッチングin関西開催、IT・バイオネットワーク構築調査、R&Bサテライト運営と北大北キャンパスへのコーディネーターの設置、健康サービスモデル・環境関連事業モデルの調査。</p> <p>首都圏市場開拓 販路拡大モデル事業（東京事務所での札幌企業プレゼン大会）、販路拡大セミナーの開催、東京ビジネスラウンジの整備・運営。</p> <p>ベンチャー支援 創業前支援事業、ベンチャーファンドの検討。</p>		<p>新産業 IT・バイオビジネスマッチングin関西、ビジネスツアーの開催、R&Bサテライト運営と北大北キャンパスへのコーディネーターの設置、健康サービス関連事業の共同研究、環境関連ビジネスの可能性調査。</p> <p>首都圏市場開拓 販路拡大モデル事業、東京ビジネスラウンジの運営。</p> <p>ベンチャー支援 創業前支援事業、札幌元気ファンドの創設。</p>	
18年度（実績）		18年度（実績）	
<p>新産業 IT・バイオビジネスマッチングin大阪・in神戸開催（来場者数427人）、R&Bサテライト運営、北大R&Bパークプロジェクトの事業化支援（3件）、企業・研究者・コーディネーターのネットワーク形成支援、健康サービス関連事業の共同研究・フォローアップ、エコプロフィットの普及啓発、バイオディーゼルエネルギー事業化支援。</p> <p>首都圏市場開拓 販路拡大モデル事業（参加企業数札幌企業10社、首都圏企業87社、2社3契約・179百万成約）、東京ビジネスラウンジの運営（利用者数306人）。</p> <p>ベンチャー支援 創業前支援事業（5件）、札幌元気チャレンジファンドの創設（約5.6億円）。</p>		<p>新産業 IT・バイオビジネスマッチングin大阪・in神戸開催（来場者数427人）、R&Bサテライト運営、北大R&Bパークプロジェクトの事業化支援（3件）、企業・研究者・コーディネーターのネットワーク形成支援、健康サービス関連事業の共同研究・フォローアップ、エコプロフィットの普及啓発、バイオディーゼルエネルギー事業化支援。</p> <p>首都圏市場開拓 販路拡大モデル事業（参加企業数札幌企業10社、首都圏企業87社、2社3契約・179百万成約）、東京ビジネスラウンジの運営（利用者数306人）。</p> <p>ベンチャー支援 創業前支援事業（5件）、札幌元気チャレンジファンドの創設（約5.6億円）。</p>	
施策2 札幌の都市イメージを活用したさっぽろブランドの発信			
<p>札幌ブランド 札幌スタイル・デザインコンペの開催、認証事業。デザインギャラリーの開設・運営、デザインセミナーの開催。</p> <p>食産業振興 ビジネスチャンス拡大支援（FOODEX JAPANへの参加）及び食産業のブランド化を支援。</p> <p>顔の見える農業 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大、消費者ニーズにあった魅力的な農産物の生産普及。</p>		<p>札幌ブランド デザインコンペ入賞作品の商品化事業、札幌スタイル認証事業。デザインギャラリーの運営、デザインセミナーの開催。</p> <p>食産業振興 ビジネスチャンス拡大支援（FOODEX JAPANへの参加）、食産業ブランド化事業の実施、食関連新技術導入促進事業の実施。</p> <p>顔の見える農業 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大、消費者ニーズにあった魅力的な農産物の生産普及。</p> <p>スローライフ 「食」「花」「健康」のテーマで活動している区民の活動内容や本市の支援メニュー・制度の紹介冊子を作成。</p>	
<p>札幌ブランド 札幌スタイルデザイン会議の開催、デザインコンペの開催（応募総数145点、13点が入賞）、札幌スタイル認証事業（新たに11製品を認証（累計56製品））、デザイン開発プロジェクト、デザインギャラリーの運営、デザインセミナー（計15回開催、参加者数2,444人）・中小企業経営者デザイン塾等の開催、北海道ビジネスフォーラムへの参画、「らくらくフェア」開催。</p> <p>食産業振興 スイーツ王国さっぽろ推進支援事業（「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」参画企業85社）、ビジネスチャンス拡大支援（FOODEX JAPANへの参加、延べ商談件数3,417件）、食関連新技術導入促進事業の実施（新規性のある食品及び食品加工技術の開発2件）。</p> <p>顔の見える農業 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大、「さっぽろとれたてっこ」の認知度向上（参画農家数135戸、取扱量517t）、消費者ニーズにあった魅力的な農産物の生産普及。</p> <p>スローライフ 活動事例発表会（2回実施、参加者数95人）、スローライフに関するアンケートの実施。</p>		<p>札幌ブランド デザインコンペ入賞作品の商品化事業、札幌スタイル認証事業。デザインギャラリーの運営、デザインセミナーの開催。</p> <p>食産業振興 ビジネスチャンス拡大支援（FOODEX JAPANへの参加）、食産業ブランド化事業の実施、食関連新技術導入促進事業の実施。</p> <p>顔の見える農業 地産地消を基本とした地元農産物の流通・消費拡大、消費者ニーズにあった魅力的な農産物の生産普及。</p> <p>スローライフ 活動事例発表会（2回実施、参加者数95人）、スローライフに関するアンケートの実施。</p>	

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	1 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ		
重点戦略課題	4 さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">評 価 (成 果)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">課 題</td> </tr> </table>		評 価 (成 果)	課 題
評 価 (成 果)	課 題		
<p>・札幌のIT産業振興の今後の方向性として、高度人材育成を中心とした事業の具体化を図ることができた。また、市内のIT企業が海外企業との連携を進めるための調査を進め、マッチング具体例につなげた。</p> <p>・札幌国際短編映画祭の立上げにより、コンテンツマーケットの基盤整備が進むこととなった他、「さっぽろムーブスケッチ」の製作、配布によりクリエイターの世界的なビジネスチャンスの獲得に寄与した。また、クリエイター人材交流事業については、人的交流から拠点間交流へと進化させ国際的なネットワークの拡大を図った。また、「創造都市さっぽろ」構想の推進を通じて、庁内外で「創造」をキーとした新たな都市ブランドづくりの機運が高まった。</p> <p>・関西市場への販路開拓により、本市のIT・バイオ関連産業の成長が加速された他、健康サービス分野において、様々な企業間のネットワークが整備され、新産業形成の一助となった。「環境と経済が両立した経営」を実践する企業意識を醸成し、産学官が連携した北海道バイオディーゼル研究会が立ち上がるなど地域の実情に即した創意工夫が生まれた。</p> <p>・東京事務所との連携による首都圏販路拡大により、本市企業の技術力の認知度が向上し、技術集積都市としての札幌をPRできた。</p> <p>・創業を目指す個人や設立間もないベンチャー企業に対し円滑な創業や事業展開を促すとともに、中小ベンチャー企業を対象とした投資ファンドを設立し、新たな資金調達の手段を提供した。</p> <p>・北大発の研究成果が着実に蓄積されている中、北大R&B構想推進協議会との連携により、大学研究成果の企業への円滑な橋渡しが可能となった。</p>	<p>・IT産業の振興については、本市人材の育成と、可視化、PRを進めることにより、首都圏をはじめ中国等を含めた積極的な販路の拡大が必要である。</p> <p>・地域発のコンテンツビジネスを進めていくためには、地元根ざした独自の市場形成が必要である。また、コンテンツの制作にかかる資金調達も重要な課題であり、コンテンツ制作資金の融資、投資などの検討を進める必要がある。</p> <p>・異業種や産学官の連携等による新たなビジネス開発や具体的なビジネスモデルの構築には、事業化までのコーディネート機能が重要となっている。</p> <p>・情報関連産業における首都圏販路拡大の成功をうけて、他業種への応用や民間組織等との連携を強化する必要がある。</p> <p>・創業前支援について、創業後のフォローをより強化していく必要がある。</p> <p>・大学発の研究成果について積極的な活用を図り、事業化に向けた支援が必要となっている。</p>		
<p>・市内中小企業が「デザイン」を経営資源の一つとして認識できる環境を構築するとともに、デザイナーと地元企業の連携による札幌発の商品開発を進めるモデルケースの蓄積を行うことができた。また、デザインと産業の融合を目指すNPO法人が誕生し民間主体の自律的なデザイン振興の下地が作られた。</p> <p>・「さっぽろスイーツ」をはじめとして、新規性のある食品や食品加工の新技术等に関する成功モデルを提示し、札幌の食をブランドとして道内外にアピールできた。</p> <p>・市内農産物を札幌ブランドとしてPRすることで市民の認知が進み新しい札幌の農業が進展した他、「地産池消」の機運の高まりにより「さっぽろとれたてっこ」に対する認知度が向上した。また、近年の地産地消の機運の盛り上がりの中、地元の優れた食材を生産者自ら実需者へ紹介し、相互の活発な交流を目指したスイーツマルシェ（農産物見本市）を開催し、菓子製造関係者等350名の参加を得た。</p> <p>・意見交換会やアンケート調査を通じて「スローライフ」に対する理解が進み、活動の輪を広げていく機運を着実に醸成できた。</p>	<p>・デザインを活用した産業振興に係る方向性や具体的な取り組みを反映した長期的な視点にたった札幌スタイル事業の再構築を図る必要がある。</p> <p>・観光とスイーツ、道産食材とスイーツなど食物の生産、加工、販路拡大の各プロセスにおける連携の推進、新規事業に取り組もうとしている企業の発掘等、食関連産業の活性化に向けた取り組みを展開していくことが必要である。</p> <p>・地産池消を基本とした魅力的な地元農産物の生産・普及を図る上では、「さっぽろとれたてっこ」取り扱い品目の拡大や安定供給体制を確立することが必要となっている。</p> <p>・「スローライフ運動」の考え方を、より広い世代に浸透させていくことが必要となっている。</p>		

施策1

施策2

新まちづくり計画（H16～18）施策総括調書

基本目標	1	元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ																								
重点戦略課題	4	さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興																								
成果指標等の動向																										
項目1	情報関連産業事業所数(カ所)	項目2 情報関連産業売上高(億円)																								
<table border="1"> <caption>情報関連産業事業所数(カ所)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業所数(カ所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>314</td> </tr> </tbody> </table>		年度	事業所数(カ所)	H14 (現状値)	282	H15	288	H16	310	H17	226	H18 (目標値)	314	<table border="1"> <caption>情報関連産業売上高(億円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>売上高(億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14 (現状値)</td> <td>2,443</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>2,561</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>2,775</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>2,827</td> </tr> <tr> <td>H18 (目標値)</td> <td>3,027</td> </tr> </tbody> </table>	年度	売上高(億円)	H14 (現状値)	2,443	H15	2,561	H16	2,775	H17	2,827	H18 (目標値)	3,027
年度	事業所数(カ所)																									
H14 (現状値)	282																									
H15	288																									
H16	310																									
H17	226																									
H18 (目標値)	314																									
年度	売上高(億円)																									
H14 (現状値)	2,443																									
H15	2,561																									
H16	2,775																									
H17	2,827																									
H18 (目標値)	3,027																									
成果指標から見た重点戦略課題の評価																										
<p>・本指標は、北海道経済産業局が発表してきた「北海道ITレポート」の値である。当該レポートは北海道経済産業局が道内に立地する情報関連企業に対して実施したアンケート調査結果であるが、平成17年度以降は道内のIT企業の業界団体である社団法人北海道IT推進協会が当該調査を引き継いで実施している。</p> <p>・以上のとおり、調査実施機関が変更になったことにより、平成17年度以降の値については16年度までと同一条件下での比較が困難となっている。</p> <p>・本票では、参考として同協会が実施した調査結果(H17分)を掲載している。これによるとアンケートに回答した事業所が減少となりながらも売上高は伸びており、従前同様の条件を想定した場合でも、売上高については堅調に伸ばしていることが想定される。</p> <p>・なお、本指標に代わる指標については、別途、検討の上、次期計画までに決定する。</p>																										